

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」令和3年度学園だより

# とう 雲 第17号

令和4年1月12日発行

発行者：校長 小貴 崇明



## ○まよめの3学期～先生方はいつもそばにいます～

全校児童生徒にとっては今年度1年間の学びをまとめる3学期、そして9年生にとっては進路決定の3学期がよいよ始まりました。2学期後半はコロナがどんどん落ち着いていきましたが、現在ではまた勢いを増してきています。しかし、悲観してばかりはられません。コロナ対策はしっかりとしながらも、今年積み重ねてきた学び、友だちと学び合ってきた様々な知識や体験をしっかりと整理しまよめ、次の学年・次の学校に自信を持って進んでいってほしいです。私たち稲田学園の教職員は、常に子どもたちに寄り添い、温かく見守っていきます。



(写真は、始業式で児童生徒代表の抱負を真剣に聴く子どもたち)

## ○私立高校の受験が始まっています

1月5日(水)の聖光学院推薦入試(7日発表)を皮切りに、1月は私立高校の入試が続きます。受験する9年生には合格を目指してベストを尽くしてほしいです。1月の入試日程は以下のとおりです。

- ・17日(月) 尚志高校推薦(専願・併願)入試、日大山形専願入試
- ・18日(火) 帝京安積推薦入試、日大山形専願合格発表
- ・19日(水) 帝京安積一般・特別入試
- ・25日(火) 日大東北推薦入試1日目
- ・26日(水) 日大東北推薦入試2日目、帝京安積合格発表
- ・27日(木) 日大東北一般入試、尚志高校合格発表



### ★言葉と生きる(17) この年末年始で、心に残った言葉を紹介します

#### ①「親の夢 末は藤井か 大谷か」

福島民友新聞の世相川柳で、12月の月間賞をとった作品です。子どもたちに夢があるように、親にも夢があってもいいと思います。令和3年はずっとコロナ禍で大変でしたが、将棋の藤井四冠と大リーグの大谷選手が日本全体に明るい夢を見させてくれましたね。

#### ②「応援の 応援を 応援する」

お正月にテレビを見ていたら、携帯のCMで桃太郎たちが出てくるシーンがあって、そこでこの言葉が使われていました。変な表現ですが、よく考えてみると、例えば何かの大会に出場する選手を応援する仲間たち、その仲間たちを含め大会に参加する人たちを応援する応援団、そしてその応援団のパフォーマンスがうまくいくよう応援する仲間や先生方…というように、応援(思いやり)の連鎖は人のつながりとしては最強ではないかなと思うのです。